令和元年度　同窓会常任理事会報告

令和元年度、小松工業高校同窓会常任理事会が７月１３日（土）に役員、常任理事合わせて２６名、参加のもと諏訪会館で開催されました。

宮川会長から同窓会に対する学校や会員各位の日頃からのご協力に対する御礼と、創立80周年事業活動へのさらなるご尽力をお願いするとの挨拶がありました。続いて、本年度、着任された諸角校長先生から、次の通りご挨拶がありました。

１）久しぶりに小松市に戻ってきた。教師としての初任が小松市であり、小松市には愛着がある。

２）小松工業高校では生涯、飯を食える人材の養成を念頭に学校運営を推進していきたい。言い換えるなら、学び続ける力をつけること、チャレンジする心を育てることと考えている。

３）部活動もこれまでの立派な実績に負けないように、さらに成長できるように取り組んでいきたい。

４）成績が不満足との声がある野球部については、5年ぶりに中野監督が戻って来たので、これからは大いに期待できる。長い目で見守っていただきたい。

続いて、議案の審議が行われました。（詳細は別紙の議案書を参照ください。）

★主な議案

（１）平成３０年度事業報告および決算報告

（２）平成３０年度会計監査報告

（３）本部役員および常任理事の選任について（案）

（４）令和元年度　事業計画(案)および予算(案)

（５）創立８０周年記念事業の進捗状況について

（６）その他

★主な審議、質疑内容

（１）令和元年度の役員の選任について

10月19日の記念式典終了までは、現体制で担当するが、10月19日の総会に新体制を提案し、年度の途中ではあるが引き継ぐこととする。

（２）議案書中の総会参加人員の数に不一致の記載があるので、見直すこと。（担当：同窓会事務局）

（３）村先　80周年記念事業実行委員長より、

日頃の皆さんのご尽力に感謝する。募金活動はようやく目途がたってきたが、まだ、十分とは言えないので、残された期間の一押しを願いたい。

（４）沢田　事務局長より

80周年記念事業の主な活動状況について説明と報告を行った。

「招待状」の文面に誤字、脱字がある。見直すこと。（担当：80周年事務局）

（５）山崎　募金委員長より

募金活動は地区別にみると、実績に大きな差がある。那谷地区では参加率が50%に近い。中京支部は県外であるが30%が参加している。しかし、小松市内でも0%に近い地区が散見される。今後とも地区別実績をきめ細かく報告していくので、参考にしていただき、目標金額に近づけるようにお願いしたい。

（６）その他の審議事項

・同窓会名簿の管理を委託しているサラト（名簿業者）が、80周年に合わせて名簿を発行しているが、80周年を巧妙に利用して、募金活動を行い、業者の収入にしている。

寄付した企業、個人は、「80周年記念事業の募金と考えており、納得できない。」との声がある。対策が必要である。

・本日の会議は常任理事会であるが、常任理事の出席が非常に少ない。改善が必要である。
・80周年記念事業の成功に向けて、同窓会全体が総力を結集しなければならない。

宮川会長挨拶

役員席

諸角学校長挨拶

中森庶務司会進行

村先実行委員長

北川事業委員長　沢田事務局長　岡本　副委員長

山崎募金委員長

林会計決算報告

★懇親会・新旧職員の歓送迎会

・退職された方　　林純一郎　前校長先生

・着任された方　　諸角敏彦　校長先生
平木外二　教頭先生
本谷克実　教頭先生
松井裕治　事務長

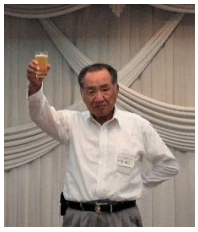
林　前校長先生記念品贈呈とご挨拶

宮川会長挨拶

着任された諸角校長先生

平木教頭先生　本谷教頭先生　松井事務長

村先委員長　乾杯



太田庶務司会進行

現役の辰巳先生　深沢先生　岩田先生　下出先生

宴会の様子

校歌斉唱

薮中京支部長の中締め

創立 80 周年記念事業

募金活動に協力下さい。

以上